

2025 年度入学試験問題
〔データサイエンス学部〕

学校推薦型選抜

小 論 文

〔論述（図表理解）〕

注 意

1. 指示があるまで，手を触れないこと。
2. 指示に従って，解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は，解答用紙の指定された箇所に，横書きで記入すること。
4. 問題冊子は 8 ページ，解答用紙は 1 枚である。もし，問題冊子の落丁，乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば，ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題（100 点）

通信インフラの高度化やデジタルサービスの多様化等に伴い、インターネットを介して膨大なデータが流通し、IT のプラットフォーマー^{注1}が提供する SNS 等のサービスにより、我々の生活の利便性が大きく向上している。一方で、特定のプラットフォームへのデータの集中やプラットフォーム上での偽情報や誤情報の拡散など、様々な問題が生じている。図表 1 ～ 8 はデータの流通・活用の現状と課題に関するデータである。これらをもとに以下の設問に答えなさい。

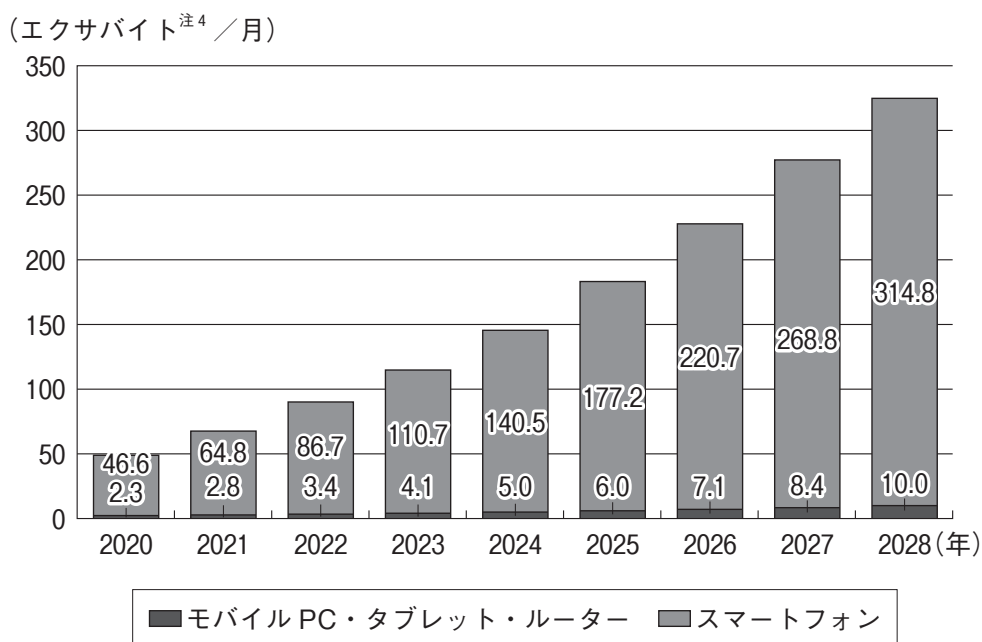
注 1) プラットフォーマーとは、インターネット上のビジネスの基盤となるようなサービスやシステムを企業や個人に対して提供、または運営する事業者のことを言う。また、そのようなサービスやシステムのことをプラットフォームと言う。

設問 1 図表 1 ～ 5 は IT のプラットフォーマーへのデータ集中に関するデータである。これらをもとにプラットフォーマーによるデータの収集、およびデータの収集に対する日本国内ユーザーの認識の現状について説明した上で、日本国内ユーザーの認識を改善するための方法について 450 字以内で述べなさい。

設問 2 図表 6 ～ 8 は SNS 等プラットフォーム上での偽・誤情報の拡散等に関するデータである。これらをもとにインターネット上での偽・誤情報の拡散等の現状について説明した上で、偽・誤情報に惑わされないための方法についてあなたの意見を 350 字以内で述べなさい。

※出題にあたり、元の図表の一部を加工修正しています。

図表1 世界のモバイルインターネットトラフィック^{注2}の予測^{注3}（モバイル端末別）



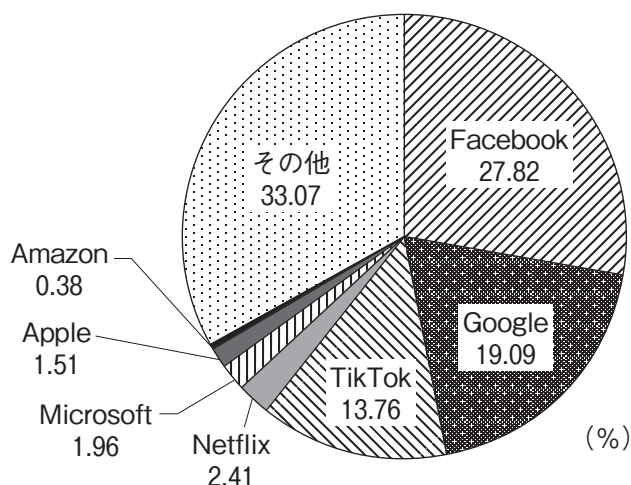
出典：総務省「令和5年版 情報通信白書」

注2）モバイルインターネットトラフィックとはスマートフォンやタブレット等のモバイル端末を用いたインターネットの通信データ量のことを言う。

注3）このデータは2022年11月公表であり、2022年以降の数値が予測値となっている。

注4）デジタルデータの量を表す単位としてバイトが使われ、1エクサバイトは 1×10^{18} バイトのことである。

図表2 アプリケーション別モバイルインターネットトラフィックの割合
(2022 年上半期)



出典：総務省「令和5年版 情報通信白書」

図表3 プラットフォーマーによって収集されているデータ項目例

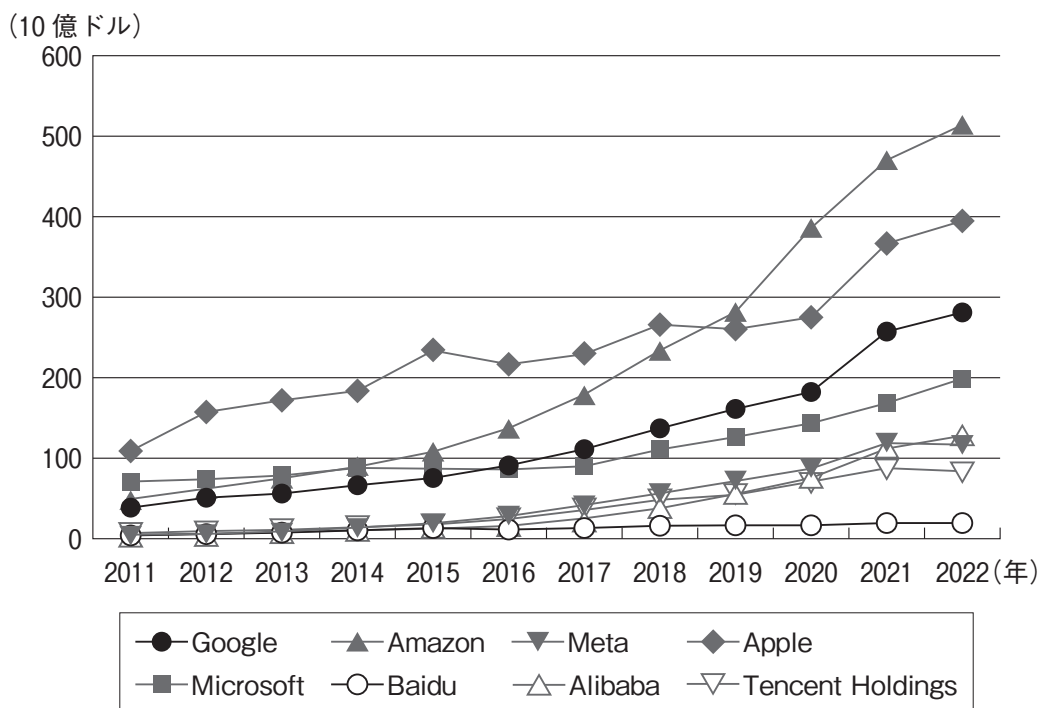
データ項目	プラットフォーム			
	Google	Facebook	Amazon	Apple
名前	○	○	○	○
ユーザー名	—	—	○	—
IP アドレス	○	○	○	○
検索ワード	○	—	○	○
コンテンツの内容	—	○	—	—
コンテンツと広告表示の対応関係	○	○	—	—
アクティビティ ^{注5} の時間や頻度, 期間	○	○	—	○
購買活動	○	—	○	—
コミュニケーションを行った相手	○	○	—	—
サードパーティーアプリ ^{注6} 等でのアクティビティ	○	—	—	—
閲覧履歴	○	—	○	—

出典：総務省「令和5年版 情報通信白書」

注5) アクティビティとはそのアプリケーション（アプリ）におけるユーザーの活動全般のことを言う。

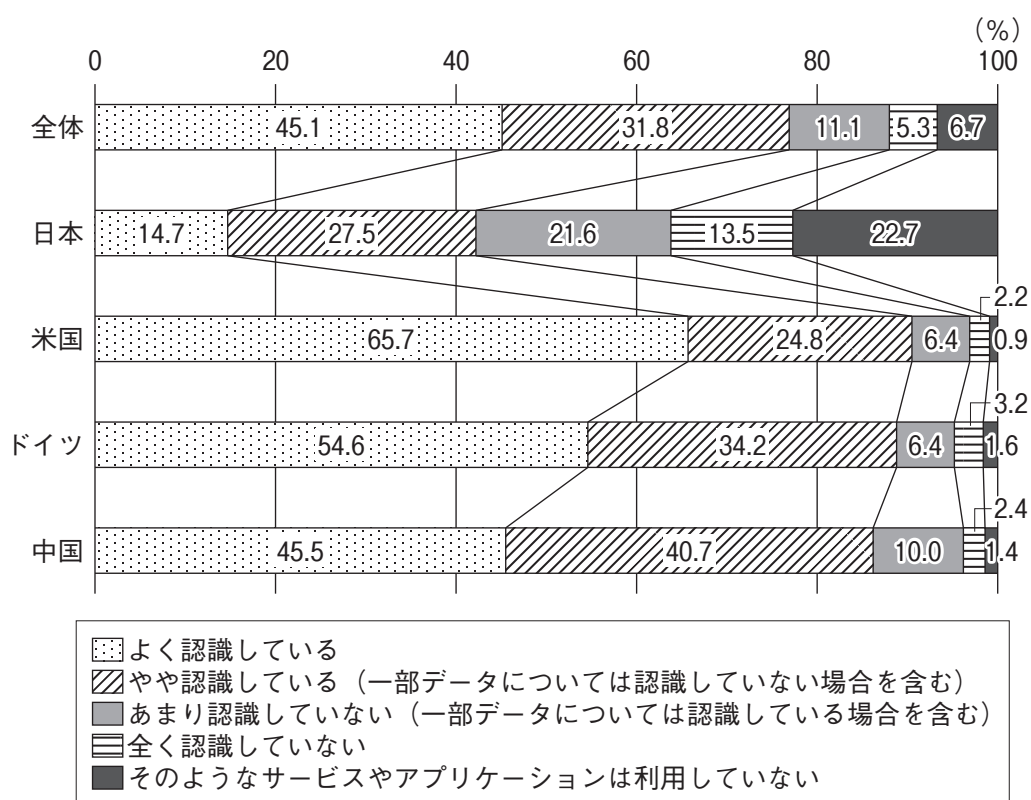
注6) サードパーティーアプリとはプラットフォーム以外の会社が開発・運用しているアプリケーション（アプリ）のことを言う。

図表4 大手プラットフォームの売上高の推移



出典：総務省「令和5年版 情報通信白書」

図表5 パーソナルデータ^{注7} 提供に対する認識の有無



出典：総務省「令和5年版 情報通信白書」

注7) パーソナルデータとは、本人を特定できる個人情報だけではなく、位置情報や行動履歴等、個人に関するさまざまなデータのことを言う。

図表6 直近の1か月の間で、オンラインメディアにおいて自身が偽情報・誤情報だ
 と思う情報^{注8}を週1回以上見かけた人の割合（メディア別，世代別）（複数回答）

【週1回以上】	検索サービス	ソーシャル ネットワーキ ングサービス (SNS)	新聞社やテレ ビ局のニュー スサイト	ニュース系ア プリ・サイト	まとめサイト	動画投稿・共 有サービス
10代	36.5	54.8	29.0	33.6	31.3	43.8
20代	43.3	59.0	36.6	42.4	34.1	48.1
30代	38.7	47.7	30.4	37.1	30.0	39.1
40代	37.4	45.9	38.0	40.7	27.5	39.9
50代	35.5	44.0	30.0	30.8	34.6	34.2
60代	36.1	36.1	27.6	32.2	42.2	35.1
70代	25.1	31.5	19.0	22.4	11.1	21.7

出典：総務省「令和5年度 国内外における偽・誤情報に関する意識調査結果紹介」

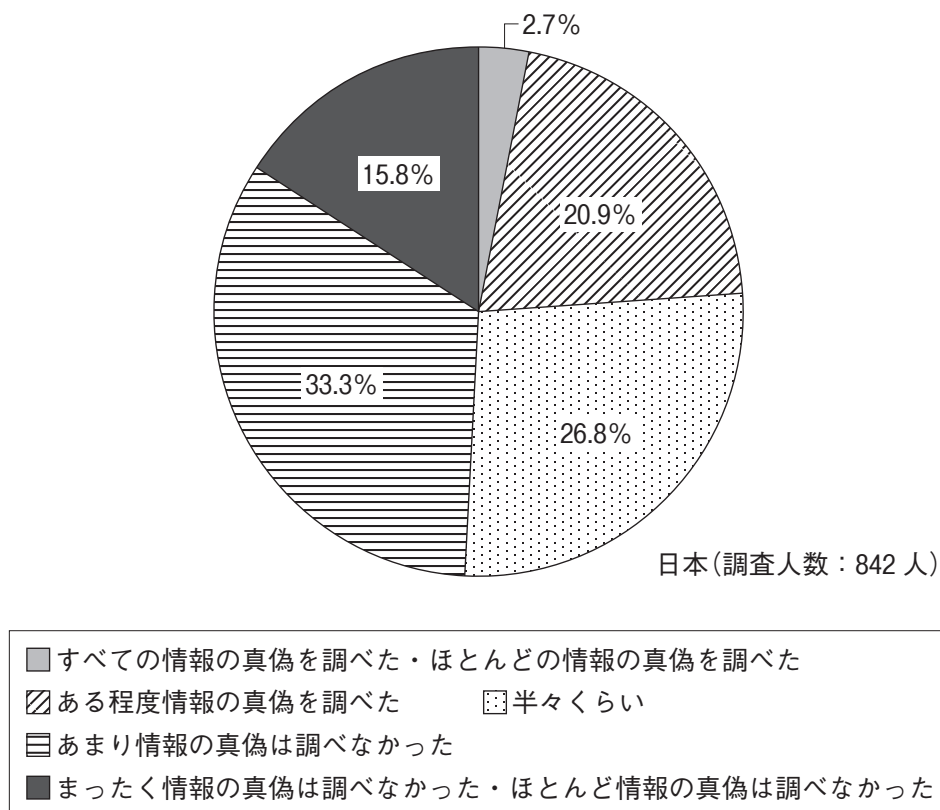
注8）ここでは虚偽または誤解を招くと考えられる情報／ニュースを指している。

図表7 自然災害の被災地に関する根拠のない噂を見たり聞いたりして、それを知人または不特定多数の人へ共有・拡散していた人に対して、なぜ共有・拡散をしたのかを調査した結果（世代別）（複数回答）

	その情報が正しいものだと信じ、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから	その情報の真偽がわからなかったが、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから	その情報の真偽がわからなかったが、その情報が間違っている・誤解を招く情報である可能性があることを他の人に注意喚起をしようと思ったから	情報の真偽に関わらず、その情報が興味深かったから	情報の真偽に関わらず、流行っている話題だったから	情報の真偽に関わらず、人に注目してもらえと思ったから	特に意味は無い	その他
10代（36人）	38.9	16.7	25.0	22.2	16.7	13.9	19.4	2.8
20代（46人）	34.8	17.4	34.8	19.6	19.6	10.9	17.4	4.3
30代（29人）	24.1	20.7	34.5	24.1	10.3	17.2	17.2	3.4
40代（23人）	8.7	30.4	26.1	8.7	8.7	4.3	34.8	0.0
50代（26人）	3.8	26.9	7.7	23.1	7.7	3.8	38.5	3.8
60代（12人）	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	41.7	0.0
70代（25人）	12.0	12.0	8.0	24.0	0.0	4.0	52.0	8.0

出典：総務省「令和5年度 国内外における偽・誤情報に関する意識調査結果紹介」

図表8 「正しいかわからない情報」，「信じないような情報」を見かけたときに，その情報の真偽を確かめた経験の有無



出典：総務省「令和5年度 国内外における偽・誤情報に関する意識調査結果紹介」